

2019 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	関西福祉大学市橋研究室 ボランティア学習グループ
活動テーマ	不登校の子ども等支援を要する子どもを対象とした地域防災ネットワーク支援活動



関西福祉大学市橋研究室ボランティア学習グループの「学生支援団体 tunagu」は、赤穂市青少年育成センターのスクールソーシャルワーカー及び赤穂市地域活動連絡協議会と連携して、不登校の子どもたちにとって、災害が発生したときにも安心して集うことの出来る居場所づくりの活動(ピアサポートまる)を継続して実施いたしました。これまで私たちは赤穂市教育委員会の適応指導教室、小学校、放課後等デイサービス等に学生ボランティアを派遣して不登校等の子どもたちへの支援を行ってきました。また、赤穂市地域活動連絡協議会が H29 年度から実施している「子ども食堂」の取組と連携し、食を通して他者とつながる体験を信頼関係づくりに活用した居場所づくりの活動に取り組みました。古民家での居場所づくりの活動を継続して実施するとともに、不登校等支援を要する子どもへの家庭訪問等を行っている SSW と連携して自宅や青少年育成センター等へのアウトリーチ支援を充実させました。公的な立場で不登校支援をしている SSW だからできる支援の補助を担いつつ、学生ボランティアだからこそできる支援に取り組みました。

成果として、3年間継続して取り組むことによって、地域からの認知度が高まり、様々な行事や活動の協力依頼が急増しました。これからは、地域やコミュニティが個を支える役割や機能を果たすという観点に立てば、つまり、地域のつながりの中で孤立や自殺を予防することができることとなります。また、地域での認知度が高まることにより、地域の人々がこの活動に参加してくれるようになりました。このようにボランティア学習グループと地域の人々が直接つながることによって、自殺予防プログラムをはじめとした安心・安全に暮らせる街づくりの第一歩となったと考えています。